

小1国語 出題のねらいと対策

1 ひらがな 88.3%

ねらい：ひらがなの正しい使い方について知識を問う。

分析と対策：ひらがなを読む問題です。「き」と「ち」、「わ」と「れ」、「き」と「ち」、「あ」と「め」、「る」と「ろ」などのように、形の似た字は読み間違える可能性があるなので注意が必要です。

2 ひらがなをかく 79.2%

ねらい：ひらがなの正しい使い方について知識を問う。

分析と対策：ひらがなを書く問題です。小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」の表記についても、書く大きさや書く位置などに注意し、「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」との違いを理解しておきましょう。また、濁音・半濁音の表記についても正しく理解しているかどうか確認しておきましょう。「くじら」「ほどうきょう」などのように音が濁る場合の表記に注意して、苦手な字がなくなるように復習を繰り返しましょう。「てつぼう」「えんぴつ」の場合は、濁音と半濁音を混同しないように注意しましょう。ひらがなを書く練習をする場合は、まず手本となる字をしっかりと見て、それを正確に写すところから始めましょう。

3 ただしいぶん 67.9%

ねらい：ひらがなの正しい使い方について知識を問う。

分析と対策：ひらがなを読む問題です。「オー」と伸ばす音、才段長音の表記は、原則として「ほうちょう」「おうじ)のようになりますが、「とおい」「おおきい」「おおかみ)などといった例外もあります。「を」と「お」、「は」と「わ」、「へ」と「え」の使い分けにも注意しましょう。

4 くとうてん 20.0%

ねらい：句読点について知識を問う。

分析と対策：句点（。）は必ず文末にくること、読点（、）は文に区切りを入れる符号であることを確認しましょう。読点を打つ位置は、「声に出して読むときに、どこで間をとるとわかりやすいか」と考えるのがよいでしょう。長い文章を句読点なしで書いたり、区切りなしで朗読したりすると、文章が不自然になることがわかります。原稿用紙に書くときの、句読点や符号の表し方も確かめておくといよいでしょう。どのような符号も、原則として一字一マスをとりますが、例外として、行の終わりに最後の字と句読点がきたときは、その字と句読点を一つのマスに書き入れます。また、かぎかっこを閉じる符号と句点とを一つのマスに書く場合もあります。

全体の平均点は 62.0点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。